

## 平成30年度 第295回教育研究審議会議事要録

**日時** 平成30年7月10日(火) 13:30~14:25  
**場所** 北方キャンパス本館 E701 会議室  
**出席者** 松尾学長、柳井副学長、梶原副学長、二宮副学長、中尾副学長、田上事務局長、大平外国語学部長、朱経済学部長、田部井文学部長、小野法学部長、眞鍋地域創生学群長、龍国際環境工学部長、日高基盤教育センター長、八百社会システム研究科長、任マネジメント研究科長、今泉学生部長、田村教務部長、後藤入試広報センター長、佐藤情報総合センター長、廣渡評価室副室長

- 配布資料**
- 1 JICA研修員(学位課程就学者)受入に係る独立行政法人国際協力機構との覚書の締結について
  - 2 公立大学法人北九州市立大学公的研究費取扱規程の一部改正について
  - 3 グローバル人材育成推進事業後継プログラム策定WGにおけるこれまでの経緯
  - 4 北九州市立大学外国人留学生後援会へのご賛助のお願い

### 第1号 JICA 研修員(学位課程就学者)受入に係る独立行政法人国際協力機構との覚書の締結について

\* 資料1のとおり、JICA研修員(学位課程就学者)受入に係る独立行政法人国際協力機構との覚書の締結について提案。

- 独立行政法人国際協力機構(JICA)が学位課程での研修員受入に係る新制度を開始したことに伴い、本学においても、同制度を活用した受入の枠組みを創設し、覚書を締結するもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 第2号 公立大学法人北九州市立大学公的研究費取扱規程の一部改正について

\* 資料2のとおり、公立大学法人北九州市立大学公的研究費取扱規程の一部改正について提案。

- 文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン(実施基準)」に基づき、本学の公的研究費取扱規程に、配分機関への中間報告等、必要な規定を盛り込むもの。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】(異議なし)

### 第3号 Kitakyushu Global Education Program「Challengeコース」(案)について

\* 資料3のとおり、Kitakyushu Global Education Program「Challengeコース」(案)について提案。

- グローバル人材育成推進事業後継プログラム策定WGで検討を行ってきたChallengeコースに関し、枠組みを整理したので提案するもの。詳細については、引き続き検討を行い、12月の教育研究審議会において最終報告を行う予定である。
- 海外体験のShort programについて、具体的にどのようなものを指しているのか。
- Short programは、現在は該当するものがないが、最低でも2週間程度で単位認定が可能なものと考えている。以前実施していた、ニューカッスル大学での英語の学修や環境保護活動の体験のようなプログラムを想定している。今後、国際教育交流センターでプログラムを開発する予定である。ただし、英米学科では、短期ではなく、半年、1年の海外体験を充実させたい思いもある。今後検討・調整していきたい。

- 現在、一部のゼミの先生等が学生を海外へ連れて行く等しているが、今後はそれも海外体験とし、全学に開放していただくことは可能か。
- ゼミにおける海外視察等を全学的に開放することは、担当教員の負担が大きくなるため難しいのではないか。
- 現在AP推進室において、学生時代のキャリアや経歴の認定について検討しているところであり、連携をお願いしたい。
- AP推進室と連携しながらIR室で情報を一元管理できればと考えている。

【議長】提案について、承認してよろしいか。

【委員全員】（異議なし）

## 報告

- ① 外国人留学生後援会への賛助のお願いについて、資料4のとおり報告があった。
- ② 次回の審議会を平成30年7月24日（火）に開催する予定である旨、報告があった。